

研究情報公開

| | |
|--------------|--|
| 研究課題名 | 緩和ケアチームが関与する患者の退院支援プロセスにおける各過程の所要時間および退院支援期間に関連する因子の検討 |
| 概要（目的・対象・方法） | <p>【目的】</p> <p>専門的緩和ケアが必要な患者において、退院の支援過程で各過程の調整に要する時間の差を明らかにし、さらに疾患、患者背景、PS（Performance Status）、家族構造などの患者特性が結果にどのような傾向をもたらすか、支援体制の最適化に資する基礎的データを提供することを目的とする。</p> <p>【対象】</p> <p>2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの 1 年の期間に当院で、緩和ケアチームが関与し、退院・療養調整が行われた成人患者 61 例</p> <p>【方法】</p> <p>電子カルテより、入院日、緩和ケアチーム介入日、介入終了日、疾患名、年齢、性別、診療科、家族属性、多職種介入状況、転帰、パフォーマンスステータスの基本情報とともに、退院支援までの各過程を以下の12項目に分類し診療・看護記録にて実施日を特定する。</p> <p>① 医師より退院支援に関する依頼②看護師による依頼内容の確認③不足情報の確認④患者へコンタクト⑤患者と家族の希望確認（意思決定）⑥患者情報の記載⑦個別性に合わせた方針に向けたカンファレンス⑧転居先へ打診⑨必要書類の送付⑩退院前カンファレンス⑪患者・家族、医療者にて最終の合意形成⑫退院、各過程の経過日数の記述</p> <p>統計を行い、支援期間に関連する因子をロジスティック回帰分析する。</p> <p>・退院支援の進行に影響を及ぼしたと考えられる要因を、診療・看護記録の記載内容から抽出し、分析対象とする。</p> |
| 期間 | 期間は東京科学大学 生命倫理審査承認から 2027 年 6 月まで。 |
| 個人情報の取り扱い | 患者の個人を特定できないように匿名化処理を行い管理する。データ分析および研究発表の際は個人が特定されないような形でデータを公開する。 |
| 研究成果の公表 | 緩和ケア領域の学術大会で成果を発表する。 |
| 問い合わせ先 | 東京科学大学病院 緩和ケアセンター 研究責任者：岡 梨津子 住所：〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 電話：03-5803-4122 |